

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年8月3日 (2017.8.3)

【公表番号】特表2017-516770(P2017-516770A)

【公表日】平成29年6月22日 (2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2016-568504(P2016-568504)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/505 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/51 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/505

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 9/51

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 9/12

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月24日 (2017.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

涙液膜の障害と関連性がある眼の疾患の治療および／または予防の方法に適用するための、エクトイン、ヒドロキシエクトインおよび／またはその化合物の塩類、エステル類またはアミド類を有効成分として含む組成物。

【請求項 2】

乾性角結膜炎の治療および／または予防の方法に使用するための、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記組成物が水溶液である、請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 4】

前記組成物中のエクトイン、ヒドロキシエクトインおよび/またはその化合物の塩類、エステル類またはアミド類の濃度が 10 から 500 mM である、請求項 1 から 3 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物中のエクトイン、ヒドロキシエクトインおよび/またはその化合物の塩類、エステル類またはアミド類の濃度が 100 から 500 mM である、請求項 4 記載の組成物。

【請求項 6】

前記組成物が 1 つ以上の増粘剤を含む、請求項 1 から 5 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 7】

前記増粘剤が、セルロースエーテル類、ポリエチレングリコール、ポリビニルアルコール、ポリビニルピロリドン、グリコサミノグリカン類、プロテオグリカン類、セチルアルコールおよびステアリルアルコールまたはその組合せ（セトステアリルアルコール）、ポリアクリル酸、ポリメタクリル酸、ポリアクリルアミド、ポリエーテル類、ポリイミン類、ポリアミド類、アルギン酸塩類、キサンタン、ポリウロニド類、アルギン酸、カラゲニン、コンドロイチン硫酸塩、グアーガム、ヒドロキシプロピルグアーガム、および酢酸澱粉から選択される、請求項 6 記載の組成物。

【請求項 8】

前記セルロースエーテルが、ヒドロキシエチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、メチルプロピルセルロース、メチルセルロース、メチルエチルセルロース、エチルセルロース、ヒドロキシエチルメチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、エチルヒドロキシエチルセルロースから選択される、請求項 7 記載の組成物。

【請求項 9】

前記組成物中の増粘剤の濃度が、0.05 から 10 重量%である、請求項 6 から 8 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 10】

前記組成物が、等張、低張または高張組成物である、請求項 1 から 9 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 11】

前記組成物が、ナノ構造体にカプセル化される、またはリボソームの形態で存在する、請求項 1 から 10 いずれか 1 項記載の組成物。

【請求項 12】

開いたまたは閉じた眼に前記組成物を適用するための、請求項 1 から 11 いずれか 1 項記載の組成物を含む噴霧器。